

2016. 4. 15



NPOフォーラム・だより No.72

NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp>

会員・寄付募集中！ ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム

年会費=A会員 2,000 円(総会出席権あり)/B会員:個人 1,000 円(ニュースのみ送付)・法人 10,000 円

青木繁「海の幸」記念館オープン

青木繁『海の幸』誕生の家・小谷家住宅が、2年にわたる修復工事を終えて、青木繁「海の幸」記念館として新しく命が吹き込まれます。小谷栄・トシ夫妻は敷地内の物置を増改築した管理棟に居住され、母屋は見学スペースとなります。公開は4月29日より始まり、GW中は5月8日まで特別公開し、以降は週末(土日)に開館します。

少子高齢化の進む館山市富崎地区において、地域活性化の取り組みが始まったのは2005年末でした。当初より当NPOは中心的活動を担い、2008年に青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会を発足後は事務局を付託されてきました。2009年に館山市指定文化財とし、翌年に全国の画家が設立したNPO法人青木繁「海の幸」会(大村智理事長)とともに保存運動を展開し、2011年には館山市ふるさと納税で整備された「小谷家住宅の保存・活用に関する事業」を指定できる寄付制度を通じて修復基金を募ってきました。公開後も引き続き、修理事業等に備えて館山市ふるさと納税を利用した基金を募るとともに、新たに友の会制度(年会費2,000円)を設けて広く支援者を募っていきます。



友の会制度(年会費2,000円)を設けて広く支援者を募っていきます。

応援して下さいましたNPOフォーラム会員の皆様にも感謝の意をこめて、過日、報告書と会報を贈らせていただきました。友の会に入会するとともに、これまでのガイド活動同様、青木繁「海の幸」記念館の受付当番など運営スタッフとして力を貸していただければ幸いです。

船田正廣氏制作のブロンズ像「刻画・海の幸」

～日韓の架け橋として、河正雄氏が5ヶ所(館山・久留米・ソウル・光州・霊岩)に寄贈～

NPOフォーラム運営委員である彫刻家・船田正廣氏制作のブロンズ『刻画・海の幸』が、小谷家住宅に寄贈されました。ブロンズ鑄造の資金提供をして下さったのは、昨夏の第19回戦争遺跡保存全国シンポジウム千葉県館山大会の記念講演者、河正雄(ハ・ジョンウン)氏です。在日韓国人二世として生まれ、苦学して画家を志すも家庭の事情で果たせず、実業家として成功後は在日画家の秀でた作品を蒐集して日韓の美術館に寄贈し、その美術価値を高め広く認識させた功績により、光州市立美術館名誉館長、朝鮮大学校美術学名誉博士、韓国秀林文化財団理事長などを務め、韓国宝冠文化勲章受章、京都市長賞など多数を受賞されています。

NPOフォーラム会員の富樫研二氏を通じて2005年に出会い、青木繁『海の幸』に対する想いを分かち合い、温め合い、戦後70年・日韓国交正常化50周年を記念し、今回の一大プロジェクトとなりました。小谷家住宅と青木繁旧居(福岡県久留米市)に設置されるほか、戦後70年・日韓国交正常化50周年を記念して、韓国の光州市立美術館分館河正雄美術館・霊岩郡立河正雄美術館・ソウル秀林アートセンターに設置されます。この説明は日韓英3ヶ国語でプレートに表記されています。

また、鑄造を担当した岡宮美術(岡宮秀紀社長・埼玉県川口市)は、札幌「クラーク像」や長崎「26 聖人像」を制作した第一人者であり、台座を制作する俵石材店(俵正成社長・千葉県館山市)は、先祖の俵光石が高村光雲の弟子として、東京美術学校の彫刻科教師をしていたという由緒があります。青木繁に導かれる縁は、海を越えて美術友好交流の架け橋となりました。なお、船田作品が海を渡るのは、2014年にウガンダ支援交流20周年記念の安房南高校生徒像が贈られて以来の快挙です。



■ 船田正廣&故愛沢綾子 二人展

◎ 4月14日(木)～28日(木) 11:00～17:00(最終日 16:00 まで)
 ギャラリーヒロイ(館山市北条 2576) ※休館日:24日(日)
 4月17日 13:00～ オープニングパーティ・思い出交流

愛沢綾子さんは、大学在学中の20歳で統合失調症を発病した。自宅療養のかたわら、NPO活動と絵画制作に取り組み、安房・平和のための美術展に出品、幼い頃からの夢であった個展を2度実現した。24歳で逝去されたが、葬儀は3度目の個展となった。

一方、船田正廣さんは昨年パーキンソン病を発症し彫刻刀を握ることが困難となった。現在は、新しい境地の作品に取り組んでいる。美術教師時代に、愛沢伸雄(NPO代表)と同僚であったことから、次女の綾子さんとも美術を通して親交を深めていた。このたび、生前からの約束であった「二人展」開催の運びとなり、会期は28日(木)まで延長となる。

船田正廣 詩「二人展」



愛沢綾子 画



高島野十郎展

4月9日(土)～6月5日(日)
 東京都目黒区美術館

青木繁の同郷の画家。兄の詩人・高島宇朗は青木の親友で、布良を紹介したといわれる。

■ 映画『サクラ花～桜花最後の特攻』上映会

◎ 6月19日(日) 10:00～南房総市和田コミュニティセンター／14:00～・16:00～南房総市とみうら元気倶楽部
 前売券 1,000円・当日 1,200円／高校生 500円 主催:映画「サクラ花」上映委員会 後援:NPOフォーラム
 南房総市三芳地区には、戦争末期につくられた特攻機「桜花」の発射基地跡が現存する。「桜花」作戦や特攻兵の想いを描いた本作を上映し、各回上映後に松村克弥監督のお話も伺い、戦跡保存の意義を見つめる。

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

- ◎ 10名以上の団体を対象に、スタディツアーガイドを有料で承っています。
 - ・参加者1人あたり1,500円＝座学・ガイドブック・数ヶ所の見学ガイド付き。
 - ・座学やガイドブックの有無、時間と料金等については応相談。

◎ 毎月第一日曜の午前は、個人や小グループを対象に、赤山地下壕ガイドサービス実施

ガイド・
サポートスタッフ
募集中!

- 4月26日(火)10:00～12:00 館山市観光協会研修＝布良
- 4月27日(水)10:00～15:00 NKトラベル・アサコ3名＝座学・赤山＋α
- 4月27日(水)10:00～11:30 昭和女子大学附属高校1年195名＝座学
- 4月28日(木)10:00～12:00 // ＝赤山
- 5月1日(日)9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス
- 5月19日(木)10:00～11:30 南房総市立嶺南中学100名＝赤山
- 5月23日(月)9:00～12:45 鎌ヶ谷市立第三中学145名＝座学・赤山・掩体壕・上陸
- 5月29日(日) くるめつつじ会25名＝青木繁「海の幸」記念館
- 6月2日(木)13:30～16:30 滋賀県近江八幡市立八幡中学197名＝座学・赤山・掩体壕・上陸
- 6月5日(日)9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス
- 6月18日(土) 中央学院大学法学部＝座学
- 6月19日(日)9:00～15:00 // ＝赤山・かいた村・大巖院・布良
- 6月23日(木)12:00～16:00 神奈川私鉄労組青年婦人部＝座学・赤山・かいた村

かいた村より支援募集!

- ① みかん狩り
5月9日(月)8:30～12:00
- ② エマオバザー
5月27・28日(金土)
8:30～14:00

◎ 年金者組合安房支部文集「なの花」第41号 発行!

NPO会員も続々執筆! * 購読は、1冊300円(年金者組合員200円)

愛沢伸雄「かいた村の村創立50周年に想う」/新屋敷重子「映画『望郷の鐘』上映会に取り組んで」
 新屋敷孝「大企業とアメリカ奉仕・棄民の安倍政治」/沖山静彦「だれの子どもも殺させない」
 小沢道子「海外釣り日記」/小沢義宣「玉子かけ御飯」/川上謹一「私の戦中戦後のこと」
 小谷福哲「青木繁《海の幸》誕生の家の公開に伴う嬉しい話」/齊藤陽子「南房総に残る元禄地震津波の被害跡を訪ねて」/俳句・木樨/田中房江「短歌」/寺谷かず代「つらつらとおもひみるに」
 内藤欽次「わが町(館山)の議会基本条例」/溝口七生「戦後70年に思う」/村上吉夫「定年後の館山(小原邸への想い)」/山口栄彦「戦後70年をふりかえる」/米津早雄「人形浄瑠璃を身近な楽しみに」

